

しょうなんしんどう
都市計画道路 湘南新道 【 県道 44 号 (伊勢原藤沢) 】
ひがししんど にししんど
東真土 ・ 西真土 工区 街路整備事業

令和 5 年 (2023 年) 7 月
県 平塚土木事務所 作成

1 事業の目的

都市計画道路 湘南新道は、平塚市四之宮の寒川町境 (湘南銀河大橋の中間付近) から大磯方面へ至る道路で、平塚市域の東西方向における広域ネットワーク形成や国道 1 号の交通混雑緩和を図ることを目的とした主要幹線道路 (4 車線) です。

当事業箇所は、県道 44 号 (伊勢原藤沢) として、既に完成供用済みの区間 (L=約 1,200m) に続く「国道 129 号西側から県道 606 号 (大島明石) までの延長約 1,280m (東西の 2 工区)」であり、平成 23 年 (2011 年) より、「東真土工区」の用地取得等に着手しています。

なお、この箇所は、「埋蔵文化財包蔵地 (※)」であるため、発掘調査を実施する必要があるため、工事着手までに長期の日時を要していますが、令和 3 年 1 月より、調査の完了した箇所から、工事に着手しました。

今後も引き続き、平塚市の関係部局等と連携しながら、用地取得や埋蔵文化財調査及び工事を推進し、早期の供用を目指していきます。

(※) その土地に、遺跡等の文化財が埋蔵されている場所のこと。「文化財保護法」では、土木工事等で現状のまま保存できない場合は、発掘調査を行い、記録保存することとなっています。

2 事業の概要

- 事業箇所：平塚市 東真土二丁目 ～ 西真土一丁目 地内
- 事業延長：L=約 1,280m (東真土工区 L=約 670m、西真土工区 L=約 610m)
- 計画幅員：W=25m (標準部) ～ W=36m (国道 129 号交差部付近)
- 供用目標：用地取得及び埋蔵文化財調査の完了後、概ね 5 年以内の供用を目指します。
(用地取得及び調査の完了後、順次、現道の拡幅工事に着手していきます。)

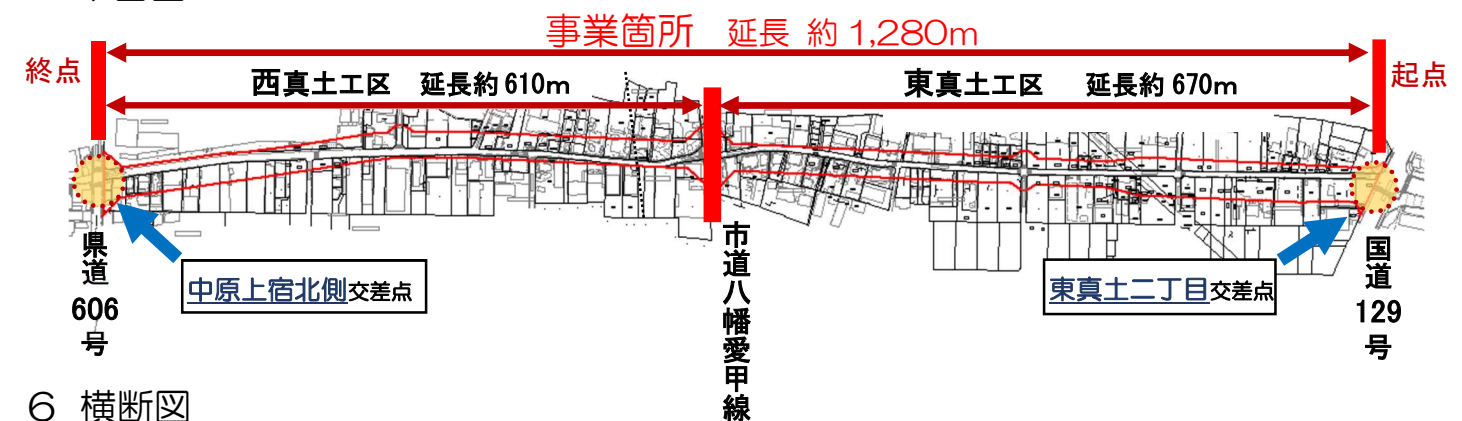
3 写真



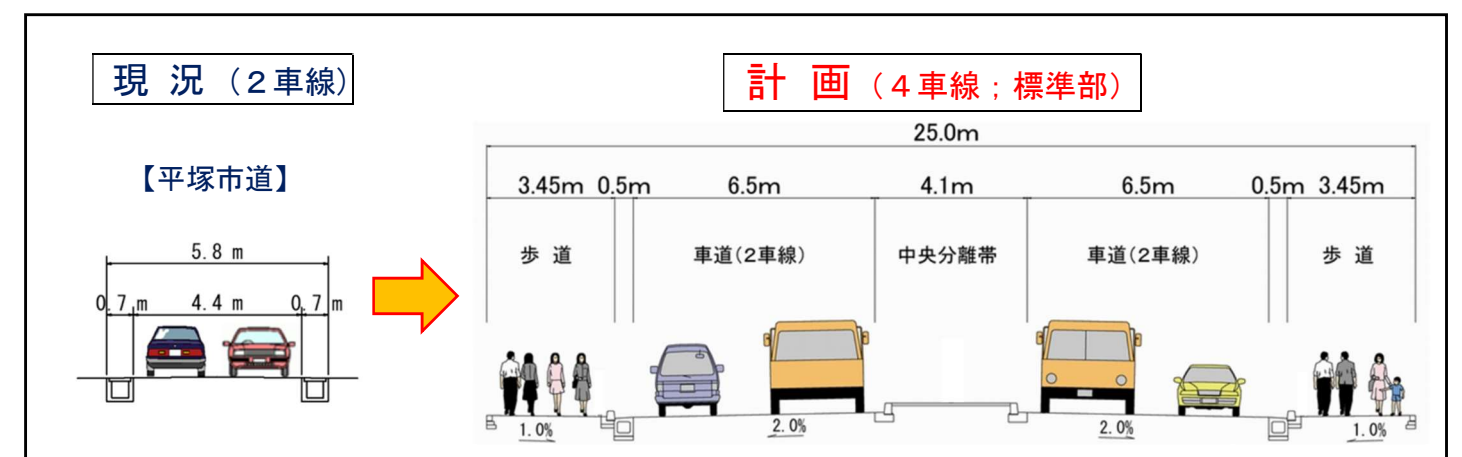
4 位置図



5 平面図



6 横断面図



県道 613号(曾屋鶴巻) 東海大北側 工区 道路整備事業

1 事業の目的

本路線は、県道 62 号との交差点から、秦野高校や東海大学等を経て、県道 612 号との延命地蔵尊前交差点に至る延長約 4.1km の幹線道路です。

当事業箇所は、歩行者等が多いにも関わらず、歩道が狭く危険な状況にあり、「東海大学北側交差点」では、平塚市道北金目真田線方面への右折レーンが無く、渋滞が頻繁に発生しているため、地元関係者等から早期の整備が強く求められていました。

こうした中、平成 22 年に着手した用地取得等は概ね完了しており、現在、本格的な工事の実施に向けて、準備を進めているところです。

今後も引き続き、地元の平塚市や秦野市の関係部局と連携しながら、令和 7 年度末の完成を目指し、工事等を進めていきます。

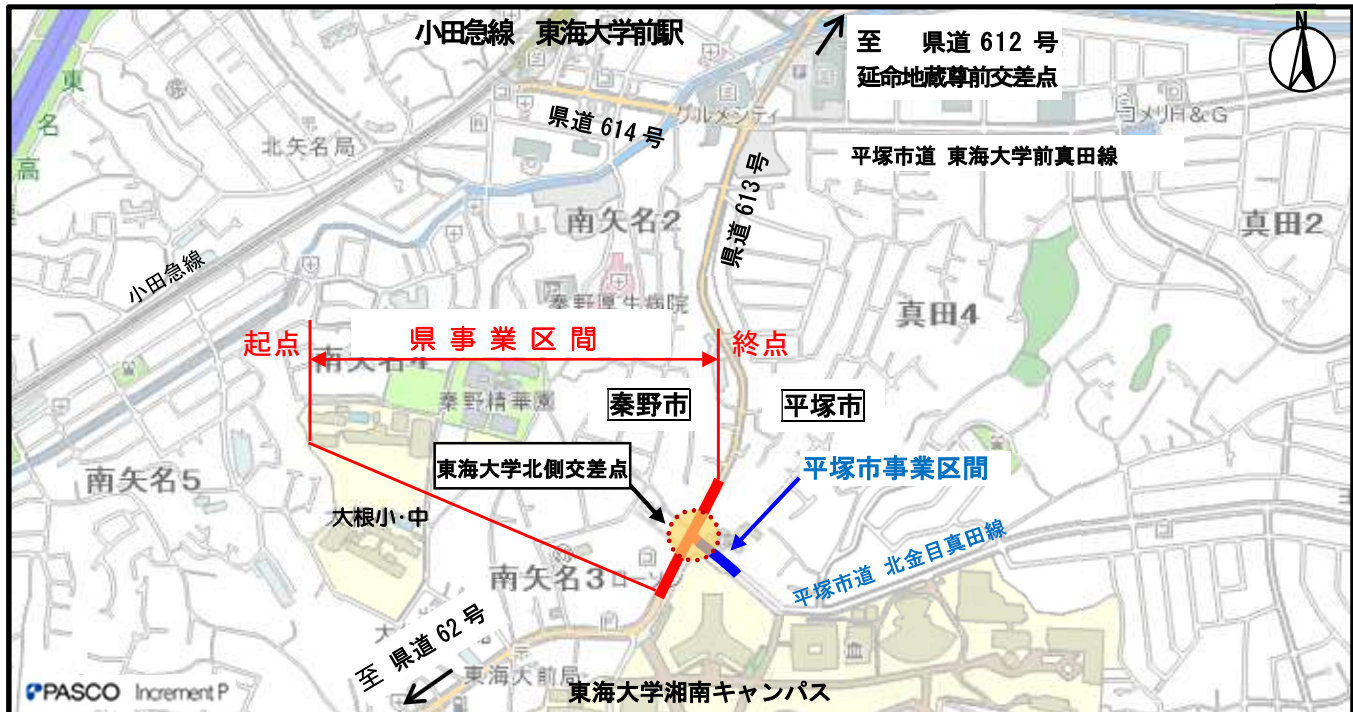
2 事業の概要

- 事業箇所：平塚市 真田・秦野市 南矢名 地内
- 事業延長：県事業区間 L=約 200m、平塚市事業区間 L=約 80m(交差点関連区間)
- 計画幅員：県事業区間 W=16m、平塚市事業区間 W=12~15m
- 完成目標：令和 7 年度末

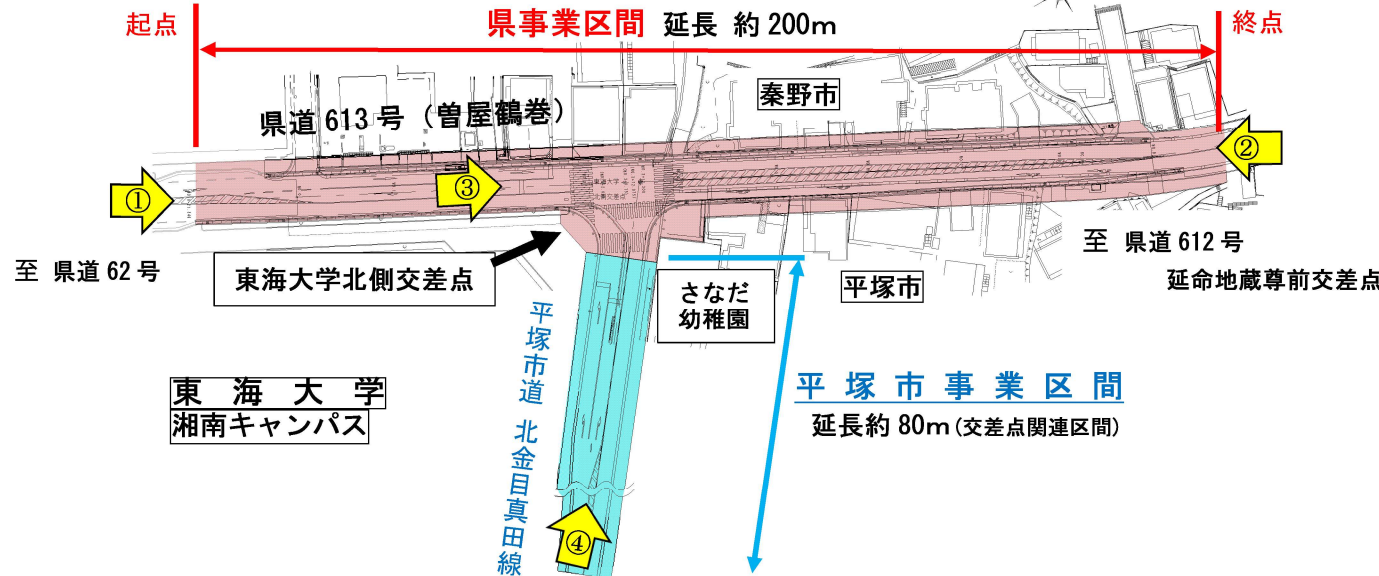
3 現況写真



4 位置図



5 平面図



6 標準横断図

